

令和4年度 第1回山口県道路交通渋滞対策部会
議事概要

1. 日 時 令和4年 8月29日(月) 10:00~10:45

2. 場 所 山口県庁 13階 企業局1号会議室

3. 出席者

[委員] ※敬称略

今田 修	国土交通省中国地方整備局企画部	広域計画課長補佐【代理】
北城 崇史	国土交通省中国地方整備局道路部	道路計画課長
景山 浩孝	国土交通省中国地方整備局道路部	地域道路課長
守山 和彦	国土交通省中国地方整備局道路部	交通対策課長
山田 直也	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	所長(部会長)
高崎 修	国土交通省中国地方整備局山陰西部国道事務所	副所長【代理】
和田 康正	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	計画課長
三浦 道人	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	交通対策課長
山田 敏行	国土交通省中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官
伊藤 努	西日本高速道路株式会社中国支社	企画調整課長
永野 善太郎	山口県警察本部交通規制課	交通管制官【代理】
嶋原 徹雄	山口県土木建築部	道路整備課長
中原 健司	山口県土木建築部	道路建設課長(副部会長)
野嶋 秀範	山口県土木建築部	都市計画課長
毛利光 伸二	山口県トラック協会	専務理事
藤原 徳行	山口県バス協会	専務理事
丸山 浩	山口県タクシー協会	専務理事

4. 議事

- (1) これまでの検討経緯
- (2) 主要渋滞箇所のフォローアップ
- (3) 渋滞対策の効果検証
- (4) 道路利用者団体と連携した渋滞対策
- (5) 観光地渋滞対策
- (6) ニューノーマル時代における交通需要マネジメントの検討

5. 議事概要

- (1) これまでの検討経緯を説明。
- (2) 最新のETC2.0プローブデータ(令和3年4月から令和4年3月データ)を用い、主要渋滞箇所の渋滞状況変化について報告。
- (3) これまでに対策を行った「国道2号馬屋線交差点ピンポイント対策」、「国道2号錦見交差点ピンポイント渋滞対策」について、効果検証した結果を報告。
- (4) 道路利用者団体と連携した渋滞対策として「国道2号岩国港交差点」の検討を説明。
- (5) 観光地渋滞対策として、令和4年度のGWに行った対策の効果及び次回以降の取組を報告。
- (6) 山口市内を対象とした交通需要マネジメント(TDM)の検討状況を説明。山口市民及び山口市中心部の事業所に対し、チラシ・ポスターによりTDMへの協力依頼・PR活動を行うことを確認

〈委員からのご意見〉

- ・ 唐戸交差点は、以前ピンポイント対策が行われ、昨年度の部会において効果検証が行われたと思うが、これはピンポイント渋滞対策によって渋滞が緩和されたとの認識でよいか。
⇒過去3回の部会（令和2年度2回、令和3年度1回）において効果検証を行い、「対策前後の下関港線からの右折交通において、交差点通過時の速度の向上が図られた。」ことを確認しており、ピンポイント渋滞対策により緩和はしていると考えている。
- ・ 民間企業による TDM 施策への参加を、カーボンニュートラルへの取組として参加企業が PR できる認証制度などがあるとよいと感じた。
⇒制度等、議論に有益な情報があれば、今後の山口県道路交通渋滞対策部会で紹介していく。